

TELstaff Enterprise for RHEL
UNIX 版 TELstaff からの移行手順書

はじめに

本説明書は、TELstaff Enterprise for UNIX から TELstaff Enterprise for RHEL へデータ移行する手順について説明します。

なお本説明書では、TELstaff Enterprise for UNIX を「UNIX 版 TELstaff」、TELstaff Enterprise for RHEL を「Linux 版 TELstaff」と表記します。

目次

1. 移行手順	1
1.1 移行の流れ	2
1.2 移行手順	3
2. コマンド	5
2.1 バックアップコマンド(telbkup)	6
2.2 リストアコマンド(telrstr)	7

1. 移行手順

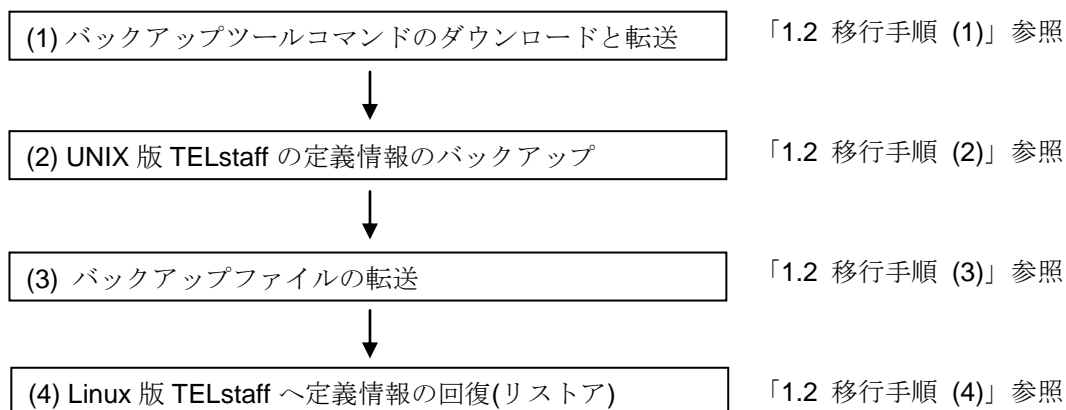
この章では、UNIX 版 TELstaff から Linux 版 TELstaff への移行手順について説明します。

1.1 移行の流れ

1.2 移行手順

1.1 移行の流れ

大まかな移行の流れを次に示します。なお、本ツールで移行できるのは、連絡網定義、ユーザ定義、カレンダー定義、スケジュール定義、ネットワーク監視定義です。その他の定義（システム設定、電話・回線設定、発信方法設定、発信制限設定、SMS 設定、その他各設定ファイルを直接編集している項目等）は移行されないので、移行先のマシン上で再定義してください。



1.2 移行手順

(1) バックアップツールコマンドのダウンロードと転送

バックアップツールコマンド (`telbkup.tar`) を TELstaff のホームページからダウンロードします。ダウンロードしたファイル (`telbkup.tar`) は、`ftp` コマンドや `ftp` ユティリティを使用して UNIX 版 TELstaff がインストールされている PC または WS に転送してください。

転送は、バイナリモードで行ってください。

転送が終わったら、`tar` コマンドで転送したファイルを解凍してください。

(2) 定義情報のバックアップ

UNIX 版 TELstaff がインストールされた PC または WS の連絡網などの定義情報の保管 (バックアップ) を、`telbkup` コマンド (定義情報の保管ツール) を使用して行います。

個別に作成した通知文ファイルやユーザコマンドファイルなどは、本ツールではバックアップできませんので、個別にバックアップを行ってください。

`telbkup` コマンドの使用方法は、「2.1バックアップコマンド (`telbkup`)」をご参照ください。

(3) バックアップファイルの転送

バックアップで取得したファイルを `ftp` コマンドや `ftp` ユティリティを使用して定義情報の回復 (リストア) を行う PC に転送してください。

転送は、バイナリモードで行ってください。

(4) 定義情報の回復(リストア)

Linux 版 TELstaff がインストールされた PC へ連絡網などの定義情報の回復 (リストア) を、`telrstr` コマンド (定義情報の回復ツール) を使用しておこないます。

個別に作成した通知文ファイルやユーザコマンドファイルなどは、本ツールではリストアできません。

リストアは、バックアップファイルに記録された連絡網定義情報 (シリアルポート名などのハードウェア情報を含みます) 、ユーザ定義情報、カレンダー定義情報、スケジュール定義情報、ネットワーク監視定義情報のリストアができます。

シリアルポートのパス文字列など、環境差異により修正が必要な定義情報は、適宜修正を行ってください。

`telrstr` コマンドの使用方法は、「2.2リストアコマンド (`telrstr`)」をご参照ください。

2. コマンド

この章では、コマンドの使用方法について説明します。

2.1 バックアップコマンド (telbkup)

2.2 リストアコマンド (telrstr)

2.1 バックアップコマンド (telbkup)

(1) 機能

UNIX版TELstaffがインストールされたPCまたはWSの定義情報を取得します。

(2) 形式

```
telbkup -f バックアップ出力先ファイル名  
[ -h ]
```

(3) 引数

(a) -f バックアップ出力先ファイル名

バックアップ出力先ファイル名を絶対パスで指定します。

(b) -h

コマンドの使用方法を表示します。本引数を指定した場合、他の引数はすべて無視されます。またコマンドとしては常に成功扱いとなり、動作ログも出力されません。

(4) 注意事項

- 本コマンドはスーパーユーザあるいは管理者権限を取得したユーザのみ実行可能です。
- telbkup コマンドの前提製品は以下のとおりです。
 - TELstaff Enterprise(HP-UX 版) 05-00 以降
 - TELstaff Enterprise(Solaris 版) 05-00 以降
 - TELstaff Enterprise(AIX 版) 05-00
 - TELstaff Enterprise(Linux 版) 05-00
 - TELstaff Enterprise for RHEL 07-00 以降

(5) 使用例

出力先を/tmp/backup.exp として、バックアップファイルを出力します。

```
telbkup -f /tmp/backup.exp
```

(6) 戻り値

戻り値	説明
0	成功しました。
0以外	バックアップに失敗しました。

2.2 リストアコマンド (telrstr)

(1) 機能

Linux 版 TELstaff がインストールされた PC へ連絡網定義, ユーザ定義, カレンダー定義, スケジュール定義, ネットワーク監視定義のリストアを行います。

(2) 形式

```
telrstr [ -f バックアップファイル名 ]  
        [ -enc { sjis | eucJP | utf8 } ]  
        [ -h ]
```

(3) 引数

(a) -f バックアップファイル名

`telbkup` コマンドで取得したバックアップファイル名を絶対パスで指定します。本引数を省略した場合は標準入力から入力します。

(b) -enc { sjis | eucJP | utf8 }

バックアップ元の運用時の文字コードを指定します。本引数を指定しない場合, `utf8` を使用します。移行元が Linux 版 TELstaff のバージョン 07-00 以降の場合, 本引数の指定は無視されます。

(c) -h

コマンドの使用方法を表示します。本引数を指定した場合, 他の引数はすべて無視されます。またコマンドとしては常に成功扱いとなり, 動作ログも出力されません。

(4) 注意事項

- `telrstr` コマンドは, Linux 版 TELstaff をインストールした `/usr/bin/telstaff` フォルダに存在します。使用する場合は, 完全パスで指定するか, 環境変数 `PATH` の設定をしてください。
- 同一引数を複数指定した場合は, 最後の引数を有効とします。
- 本コマンドはスーパーユーザあるいは管理者権限を取得したユーザのみ実行可能です。
- 連絡網に定義されている通知文ファイル自体は `telrstr` コマンドの対象外であり, リストアされません。
- 連絡網定義の発信 ID 「mail」アイコン (発信 ID:9999 として登録) は移行対象外であり, リストアされません。
- 連絡網定義として以下情報は無効となります。
 - コマンド番号
 - デスクトップ通知
 - 音声合成通知 (音声合成装置を使用する音声合成通知機能)
- ユーザ定義情報の以下情報は無効となります。
 - IP 電話設定
 - FAX 番号

- ・ コールバック番号
 - ・ 電子メール I D (@nifty 用メールアドレス)
 - ・ 音声メールボックス番号
 - ・ 音声メール到着で電話するオプション
 - ・ 音声メール到着で SMS 発信するオプション
- 移行元の登録ユーザ数が 300 を超えていた場合は、エラーをログに記録し、移行は実行しません。
 - UNIX 版 TELstaff のバージョン 05-00 からの移行の場合、スケジュール設定において保留時間帯に設定していた時間帯は、移行後では抑止時間帯となります。保留時間帯とする場合は、再設定が必要です。
 - ネットワーク監視定義の移行対象は「PING 監視」定義のみとなります。
 - ネットワーク監視定義の移行では通知先として連絡網のみを移行対象とします。

(5) 使用例

バックアップファイル/tmp/backup.exp の設定情報や定義情報をリストアします。

```
telrstr -f /tmp/backup.exp
```

(6) 戻り値

戻り値	説明
0	成功しました。
0 以外	リストアに失敗しました。詳細は telrstr コマンド実行記録で確認してください。

telrstr コマンドの実行結果は、telrstr コマンド実行記録で確認可能です。

telrstr コマンド実行記録は、/usr/lib/telstaff/log/telrstr のファイルを TELstaff の tellogvw コマンド等で閲覧します。

以上

9